



平成30年2月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

伊豆分場新庁舎起工式

1月31日、新庁舎の工事業者等関係者による起工式が行われ、伊豆分場職員も参列させていただき、工事の無事・安全を一緒に祈願しました。

新庁舎は今年10月末に完成し、年内に仮設庁舎から新庁舎への引越しを行う予定です。さらに大型水槽等屋外飼育施設とポンプ室棟は平成31年6月末に完成予定で、全ての工事完了は7月末になります。

この間、いろいろと御不便をおかけしますが、御来場の際の駐車は国道135号を当场より下田駅寄りに200m離れた白浜板戸港を御利用ください。

新庁舎模型 →



葵学園で講演

1月23日に下田市民文化会館で開催された葵学園第18回講座で、テーマ「伊豆の水産と海—過去、現在、未来—」で講演を行いました。伊豆の水産と海に関するニュースとして黒潮大蛇行、サンマ不漁を紹介し、その後、伊豆の水産と海を理解するポイント、さらに今後期待することとして、“増えてきたマサバの漁獲”と“水産資源だけでなく海、景観、伝統、文化など地域資源を活用する漁業者を中心とした経済活動”について説明しました。



解説：葵学園：正式名称はNPO賀茂地区生涯大学葵学園。「学び」【学習成果の社会還元】という二つの志、三つの活動、六つの事業をモットーに生涯学習を進めている。しずおか県民カレッジと連携している。

伊豆漁協で品質衛生管理講習会

1月19日、伊豆漁協とHACCP認定加速化支援センター共催の“市場関係者のための品質・衛生管理講習会”が伊豆漁協下田支所で開催され、40人以上の参加がありました。漁港漁場漁村総合研究所の大村浩之講師から産地市場の品質・衛生管理対策と衛生管理に対応した市場の事例紹介、また、海洋水産システム協会山内和夫講師からは優良衛生品質管理市場・漁港認定制度と事例紹介がそれぞれ行われました。今後の下田魚市場荷捌所のありかたを検討する際に役立つと思われる最新の情報が得られ、有益な講習会でした。



解説：HACCP：消費者に安全な食品を供給するシステム。Hazard Analysis Critical Control Pointの頭文字

2月の予定 ●フェリーを利用した西伊豆産水産物の静清地区への試験流通を引き続き実施します。 ●引き続き、稲取地区でテングサ場保全のために雑藻刈りを行います。 ●キンメダイ栽培漁業・蓄養研究のために、キンメダイの捕獲を行います。 ●キンメ漁業に被害を及ぼすパラムツの駆除試験を行います。 ●漁業士会総会が焼津で2日に開催されます。 ●27日に一都三県キンメダイ資源管理実践推進漁業者協議会が東京で開催されます。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>